

関係各位

薬局だより

薬剤部 医薬品情報管理

定例薬事委員会において新規採用薬品等を下記のように決定いたしました。

1) 新規採用薬品

・全科採用:該当なし

・診療科限定採用薬品(仮採用:6ヵ月後に再審議):下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
消化器内科	リアルダ錠1200mg(薬価:166.60/錠)	1錠:日局 メサラジン 1200mg	持田製薬	通常、成人にはメサラジンとして1日1回2,400mgを食後経口投与する。活動期は、通常、成人にはメサラジンとして1日1回4,800mgを食後経口投与するが、患者の状態により適宜減量する。	潰瘍性大腸炎 (重症を除く)
放射線診断科	オプチレイ350注シリンジ135mL(薬価:10,259/筒)	1シリンジ:イオベルソール含有量100.0g、ヨード含有量47.3g	ゲルベ・ジャパン	通常、成人1回次の量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。 【腹部のコンピューター断層撮影における造影】90~150mL(体重に応じて1.71mL/kgを静脈内投与する。1回量は150mLを超えないこと。)	腹部のコンピューター断層撮影における造影

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
呼吸器内科 消化器外科	イジユド点滴静注25mg・300mg (薬価:25mg:214,801/瓶、300mg:2,311,819/瓶)	1バイアル(1.25mL):トレメリムマブ(遺伝子組換え)25mg	アストラゼネカ	<p><イジユド点滴静注25mg> 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌:デュルバルマブ(遺伝子組換え)及び白金系抗悪性腫瘍剤を含む他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはトレメリムマブ(遺伝子組換え)として、1回75mgを3週間間隔で4回、60分間以上かけて点滴静注する。その後、7週間の間隔を空けて、トレメリムマブ(遺伝子組換え)として、75mgを1回60分間以上かけて点滴静注する。</p> <p>切除不能な肝細胞癌:デュルバルマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはトレメリムマブ(遺伝子組換え)として、300mgを60分間以上かけて単回点滴静注する。ただし、体重30kg以下の場合の投与量は4mg/kg(体重)とする。</p> <p><イジユド点滴静注300mg> 切除不能な肝細胞癌:デュルバルマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはトレメリムマブ(遺伝子組換え)として、300mgを60分間以上かけて単回点滴静注する。ただし、体重30kg以下の場合の投与量は4mg/kg(体重)とする。</p> <p>7.用法及び用量に関連する注意</p>	<p><イジユド点滴静注25mg> ○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ○切除不能な肝細胞癌</p> <p><イジユド点滴静注300mg> ○切除不能な肝細胞癌</p>
婦人科	リプタヨ点滴静注350mg (薬価:450,437/瓶)	1バイアル(7mL):セミプリマブ(遺伝子組換え)350mg	サノフィ	通常、成人には、セミプリマブ(遺伝子組換え)として、1回350mgを3週間間隔で30分間かけて点滴静注する。	がん化学療法後に増悪した進行又は再発の子宮頸癌

2) 診療科限定追加薬品: 下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
感染症内科	シプロフロキサシン点滴静注200mg/100mL「明治」(薬価:986/袋)	1パック: 日局シプロフロキサシン200mg	Meiji Seika ファルマ	<p>成人には通常、シプロフロキサシンとして、1回400mgを1日2回、1時間かけて点滴静注する。患者の状態に応じて1日3回に増量できる。</p> <p>小児: 一般感染症【複雑性膀胱炎、腎盂腎炎】通常、シプロフロキサシンとして、1回6~10mg/kgを1日3回、1時間かけて点滴静注する。ただし、成人における1回量400mgを超えないこととする。【炭疽】通常、シプロフロキサシンとして、1回10mg/kgを1日2回、1時間かけて点滴静注する。ただし、成人における1回量400mgを超えないこととする。</p> <p>嚢胞性線維症における緑膿菌による呼吸器感染に伴う症状の改善: 通常、シプロフロキサシンとして、1回10mg/kgを1日3回、1時間かけて点滴静注する。ただし、成人における1回量400mgを超えないこととする。</p>	<p>成人 複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、炭疽</p> <p>小児 複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、炭疽</p>
循環器内科	イグザレルト錠2.5mg(薬価:114.40/錠)	1錠: リバーロキサバン2.5mg	バイエル	<p>通常、成人にはリバーロキサバンとして2.5mgを1日2回経口投与する。</p>	<p>下肢血行再建術施行後の末梢動脈疾患患者における血栓・塞栓形成の抑制</p>
小児外科	エレンタールP乳幼児用配合内用剤(薬価: 346.80/40g1袋、693.60/80g1袋)	成分多数	EA ファーマ	<p>本剤を水又は微温湯に溶解し、経口又は経管投与する。症状により適宜増減する。(本剤は原則として2才未満の患者に用いるが、2才以上の幼児で特に本剤の投与が必要と判断される場合は1才~2才の投与量に準じる)</p> <p>通常、1日3~10g/kg体重(12~39kcal/kg体重)で投与を開始し、徐々に投与量を増やし、通常3~10日で維持量に達する。</p> <p>濃度は通常、10~15W/V%(0.4~0.6kcal/mL)で投与を開始し、徐々に濃度をあげて、維持期には18~20W/V%(0.7~0.8kcal/mL)とする。なお症状により適宜増減する。</p> <p>経口投与では1日数回に分けて投与し、経管投与では原則として1日24時間持続的に投与する。なお、注入速度は患者の状態により適当に調節する。</p>	<p>新生児及び乳幼児の疾患(小腸切除、回腸瘻造設等で消化吸収障害を有する場合・悪性腫瘍・心疾患術後・難治性下痢・術前に腸管内の清浄化を要する場合・消化管術後で未消化態タンパクを含む栄養物による栄養管理が困難な場合・ヒルシュスプルング病(short segment)の保存療法、胆道閉鎖、栄養障害等で未消化態タンパクを含む栄養物による栄養管理が困難な場合)の栄養管理に用いる。ただし、適用年齢は原則として2才未満とする。</p>

3) 患者限定追加薬品: 下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
精神科	フェルムカプセル100mg (薬価:7.40/カプセル)	1カプセル:フマル酸第一鉄 305.0mg(Fe++(鉄)と して100mg)	日医工	通常成人は1日1回1カプセルを経 口投与する。	鉄欠乏性貧血
小児科	フィアスプ注フレックス タッチ(薬価:1,737/キット)	1筒(3mL):日局インスリ ン アスパルト(遺伝子 組換え)300単位	ノボノル ディスク ファーマ	本剤は持続型インスリン製剤と併 用する超速効型インスリンアナロ グ製剤である。 通常、成人では、初期は1回2~20 単位を毎食事開始時に皮下投与 するが、必要な場合は食事開始 後の投与とすることもできる。投与 量は、患者の症状及び検査所見 に応じて適宜増減するが、持続型 インスリン製剤の投与量を含めた 維持量は通常1日4~100単位で ある。 通常、小児では、毎食事開始時に 皮下投与するが、必要な場合は 食事開始後の投与とすることもで きる。投与量は、患者の症状及び 検査所見に応じて適宜増減する が、持続型インスリン製剤の投与 量を含めた維持量は通常1日0.5 ~1.5単位/kgである。	インスリン療法が適応と なる糖尿病
小児科	ツムラ小建中湯エキス顆 粒(薬価:17.5/包)	15.0g(6包):日局シヤク ヤク 6.0g 日局ケイヒ 4.0g 日局タイソウ 4.0g 日局カンゾウ 2.0g 日局ショウキョウ 1.0g 上記の割合の混合生薬 の乾燥エキス3.75gと日 局コウイ10.0g	ツムラ	通常、成人1日15.0gを2~3回に分 割し、食前又は食間に経口投与 する。なお、年齢、体重、症状によ り適宜増減する。	体質虚弱で疲労しやす く、血色がすぐれず、腹 痛、動悸、手足のほて り、冷え、頻尿および多 尿などのいずれかを伴う 次の諸症 小児虚弱体質、疲労倦 怠、神経質、慢性胃腸 炎、小児夜尿症、夜なき
血液・腫瘍内 科	エザルミア錠100mg(薬 価:12,017.00/錠)	1錠:パレトスタットシ ル酸塩 67.6mg(パレト スタットとして50mg)	第一三共	通常、成人にはパレトスタットと して200mgを1日1回空腹時に経口 投与する。なお、患者の状態によ り適宜減量する。	再発又は難治性の成人 T細胞白血病リンパ腫
感染症内科	ビクタルピ配合錠(薬価: 7,094.10/錠)	1錠:ビクテグラビルナト リウム52.5mg(ビクテグ ラビルとして50mg)、エム トリシタピン200mg及びテ ノホビル アラフェナミド フマル酸塩28mg(テノホ ビル アラフェナミドと して25mg)	ギリアド・ サイエンシズ	通常、成人には1回1錠(ビクテグ ラビルとして50mg、エムトリシタピ ンとして200mg及びテノホビル ア ラフェナミドとして25mgを含有)を1 日1回経口投与する。	HIV-1感染症
感染症内科	セファクロルカプセル250 mg「トローワ」(薬価:54.70/ カプセル)	1カプセル:日局 セファク ロル 250mg(力価)	東和薬品	通常、成人及び体重20kg以上の 小児に対しては、セファクロルとし て1日750mg(力価)を3回に分割し て経口投与する。 重症の場合や分離菌の感受性が 比較的低い症例に対しては、1日 1,500mg(力価)を3回に分割して 経口投与する。 なお、年齢、体重、症状等に応じ て適宜増減する。	表在性皮膚感染症、深 在性皮膚感染症、リンパ 管・リンパ節炎、慢性膿 皮症、外傷・熱傷及び手 術創等の二次感染、乳 腺炎、咽頭・喉頭炎、扁桃 炎、急性気管支炎、肺 炎、慢性呼吸器病変の 二次感染、膀胱炎、腎盂 腎炎、麦粒腫、中耳炎、 歯周組織炎、歯冠周囲 炎、顎炎、猩紅熱

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
消化器内科	リンゾック錠45mg(薬価:9,677.60/錠)	1錠:ウパダシチニブ水和物 46.1mg(ウパダシチニブとして45mg)	アッヴィ 合同会社	<p><関節リウマチ> 通常、成人にはウパダシチニブとして15mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態に応じて7.5mgを1日1回投与することができる。</p> <p><関節症性乾癬、X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎、強直性脊椎炎> 通常、成人にはウパダシチニブとして15mgを1日1回経口投与する。</p> <p><アトピー性皮膚炎> 通常、成人にはウパダシチニブとして15mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態に応じて30mgを1日1回投与することができる。</p> <p>通常、12歳以上かつ体重30kg以上の小児にはウパダシチニブとして15mgを1日1回経口投与する。</p> <p><潰瘍性大腸炎> 導入療法では、通常、成人にはウパダシチニブとして45mgを1日1回8週間経口投与する。なお、効果不十分な場合はさらに8週間投与することができる。</p> <p>維持療法では、通常、成人にはウパダシチニブとして15mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態に応じて30mgを1日1回投与することができる。</p>	関節リウマチ・関節症性乾癬・X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎・強直性脊椎炎・アトピー性皮膚炎・潰瘍性大腸炎
乳腺外科	ジーラスタ皮下注3.6mgボディーポッド(薬価:114,185/キット)	1筒(0.36mL):ペグフィルグラスチム(遺伝子組換え)3.6mg	協和 キリン	通常、成人にはがん化学療法剤投与終了後の翌日以降、ペグフィルグラスチム(遺伝子組換え)として、3.6mgを化学療法1サイクルあたり1回皮下投与する。	がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制

4) 診療科限定再審議薬品(本採用結果)

- ・リオナ錠250mg:診療科限定(腎内のみ)のままで
- ・ユリス錠0.5mg:診療科限定(腎内のみ)のままで
- ・レボセチリジン塩酸塩DS0.5%「タカタ」:診療科限定(小児科のみ)のままで
- ・エボルトラ点滴静注20mg:診療科限定(血内のみ)のままで [レジメン管理中]
- ・エバシエルド筋注セット:診療科限定(感内と血内の2科限定)のままで

5) 販売/供給中止・回収・出荷調整等に伴う変更(在庫なくなり次第変更予定)

(変更前薬品名)

(変更後薬品名)

スベニールディスプレイ関節注25mg	→	アルツディスプレイ関節注25mg スベニールの在庫消尽(2023年12月頃)まではスベニールのままで
・ドパコール配合錠L100(販売:日医工)	→	ドパコール配合錠L100(販売:扶桑)
・サルポグレラート塩酸塩錠100mg「NP」	→	サルポグレラート塩酸塩錠100mg「トーワ」
・カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム錠30mg「日医工」	→	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム錠30mg「トーワ」
・トリプタノール錠25	→	アミトリプチン塩酸塩錠10mg「サワイ」
・ロイコボリン注3mg	→	【科】アインボリン点滴静注用100mg(血内のみ)
・ゲンタマイシン硫酸塩軟膏0.1%「NIG」	→	ゲンタマイシン硫酸塩軟膏0.1%「イワキ」
・ピコスルファートナトリウム内用液0.75%「日医工」	→	ピコスルファートナトリウム内用液0.75%「イワキ」
・メナテトレノンカプセル15mg「日医工」	→	メナテトレノンカプセル15mg「トーワ」
・インドメタシンクリーム1%「日医工」	→	インテバンクリーム1%
・10%アプレゾリン散「SUN」	→	アプレゾリン錠25mg
・【科】イノバン注50mg	→	【科】イノバン注100mg

(供給不安定に伴う対応)

- ・献血ヴェノグロブリンIH10%静注
献血グロベニン-I静注用2500mg(全科)規格追加、5000mg(患者限定→全科へ)採用区分変更、
ピリヴィジェン10%静注5g・10g・20g(患者限定→脳内のみの診療科限定へ)採用区分変更

6) 削除薬品(在庫なくなり次第削除予定)

- ・オキシコドン注射液50mg「第一三共」 : 期限切れのため削除(10mgのみ採用継続)
- ・【患者】エンシュアリキッドバニラ味 : 販売中止のため削除

7) 採用区分/剤型変更等(在庫なくなり次第変更予定)

① 剤型変更/規格変更/規格追加

規格追加

- ・献血グロベニン-I静注用2500mg:5000mgに追加し2規格へ
- ・【患者】ピリヴィジェン10%静注5g:10g・20gに追加し3規格へ
- ・【患者】ゼプリオン水懸筋注75mg・100mgシリンジ:50mg・150mgに追加し4規格へ
- ・【患者/医師】ゼオメイン筋注用50単位:100単位・200単位に追加し3規格へ

規格変更

- ・【科】イノバン注50mg→100mgへ変更

② 採用区分変更

【患者限定】→【診療科限定】へ変更

- ・グーフイス錠5mg(消内)
- ・無水エタノール注「フソー」5mL(循内)
- ・テリパラチドBS皮下注キット600μg「モチダ」(整形・脊外)
- ・ピリヴィジェン10%静注5g、10g、20g(脳内)

【患者限定】→【全科】へ変更

- ・献血グロベニン-I静注用5000mg

【全科】→【患者限定】へ変更

- ・リクラスト点滴静注液5mg

【診療科限定】→【患者限定】へ変更

- ・メサラジン腸溶錠400mg「サワイ」

8) 後発品へのへ変更(在庫なくなり次第変更予定)

① 先発→後発

- ・トレアキシ点静注液100mg→ベンダムスチン塩酸塩点滴静注液25mg/1mL・100mg/4mL「トーフ」
- ・モーラステープL40mg→ケトプロフェンテープ40mg「テイコク」

② 後発→後発

- ・ラクツロースシロップ65%「NIG」→ラグノスNFゼリー分包12g